

2020年5月14日

株式会社ファイバーゲート

2020年6月期第3四半期 決算説明資料



上場市場 : 東証第一部 札証
証券コード : 9450

 **2020年6月期3Q決算実績**

 **2020年6月期決算見通し**

 **アフターコロナに向けて**

 **トピックス**

Appendix

2020/6期3Q実績：

- ✓ 3月中旬以降から外出自粛による影響がフリーWi-Fi分野で発生
- ✓ ただし、影響日数は限定的でもあり、決算への影響は軽微

今後の見通し：

- ✓ 緊急事態長期化あれば、3密施設向けのフリーWi-Fiには逆風懸念
- ✓ 一方、テレワークの浸透など社会変化は通信需要増と通信インフラへの関心を高める可能性大。オルタナティブキャリア構想には追い風
- ✓ 2020/6期業績見通しには、コロナ禍によるリスクバッファを織り込んで想定

1

2020/6期3Q実績：35%増収32%経常増益

- ✓ レジデンスWi-Fiは契約戸数増などから大きく伸長。ストック型ビジネスは着実に積み上がる状況は継続
- ✓ 対従来通期見通しでは利益面では既に超過達成を実現

2

2020/6期見通し：利益想定を引き上げ

- ✓ 4Qは不需要期だが、レジデンス契約の積上げ進捗が寄与
- ✓ コロナ禍による影響もバッファーとして見通しに織り込み済

3

アフターコロナに向けて

- ✓ コロナ禍による社会変化は長期的に継続する可能性は否めず
- ✓ Wi-Fiが生活必需のインフラ化する局面に先んじての対応急ぐ



Fibergate Inc.

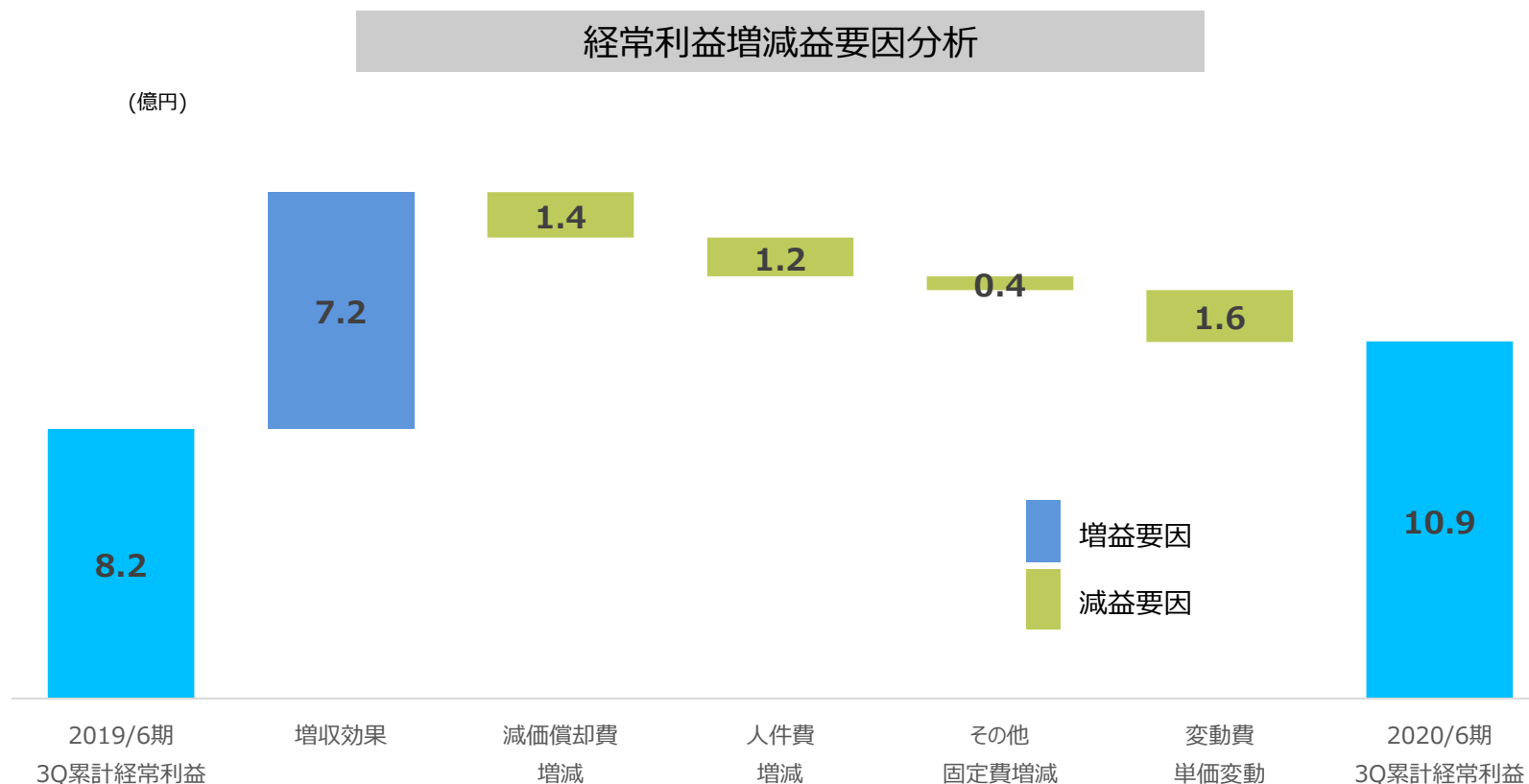
株式会社ファイバーゲート

2020年6月期3Q決算実績

- 高い成長ピッチを継続。3Q累計で前年比35%増収、32%経常増益
- 特に、レジデンスWi-Fi事業は着実にユーザーを積み上げ、41%増収。一方、フリーWi-Fi事業は増収を維持も、コロナ禍による商業施設休業の影響発現し、伸び率減速
- 対従来通期見通しでの進捗率は売上で79%。利益面では既に超過達成を実現

(百万円) 百万円未満、0.1%未満切り捨て	2019/6期 3Q累計実績	2020/6期 3Q累計実績	前年同期比		2020/6期通期	
			増減額	増減率	従来見通し	3Q進捗率
売上高	4,048	5,475	+1,427	+35.2%	6,910	79.2%
レジデンスWi-Fi事業	2,970	4,196	+1,226	+41.2%	5,040	83.2%
フリーWi-Fi事業	1,078	1,279	+201	+18.6%	1,870	68.4%
営業利益	841	1,103	+261	+31.1%	1,070	103.1%
レジデンスWi-Fi事業	925	1,216	+290	+31.4%	1,290	94.3%
フリーWi-Fi事業	342	393	+50	+14.8%	680	57.8%
調整	▲426	▲506	▲79	+18.7%	▲900	56.2%
経常利益	821	1,086	+265	+32.2%	1,060	102.4%
経常利益率	20.2%	19.8%	▲0.4p	—	15.3%	—
当期純利益	522	685	+162	+31.1%	670	102.2%

- 引続き、売上増による増収効果が業績を牽引。固定費・変動費のコストアップを吸収
- 固定費上昇続くも、これは顧客増に伴う設備償却費の増加や本社基盤整備に伴うもの。事業構造上、成長を継続するうえでは不可避な先行コストとしての位置づけ



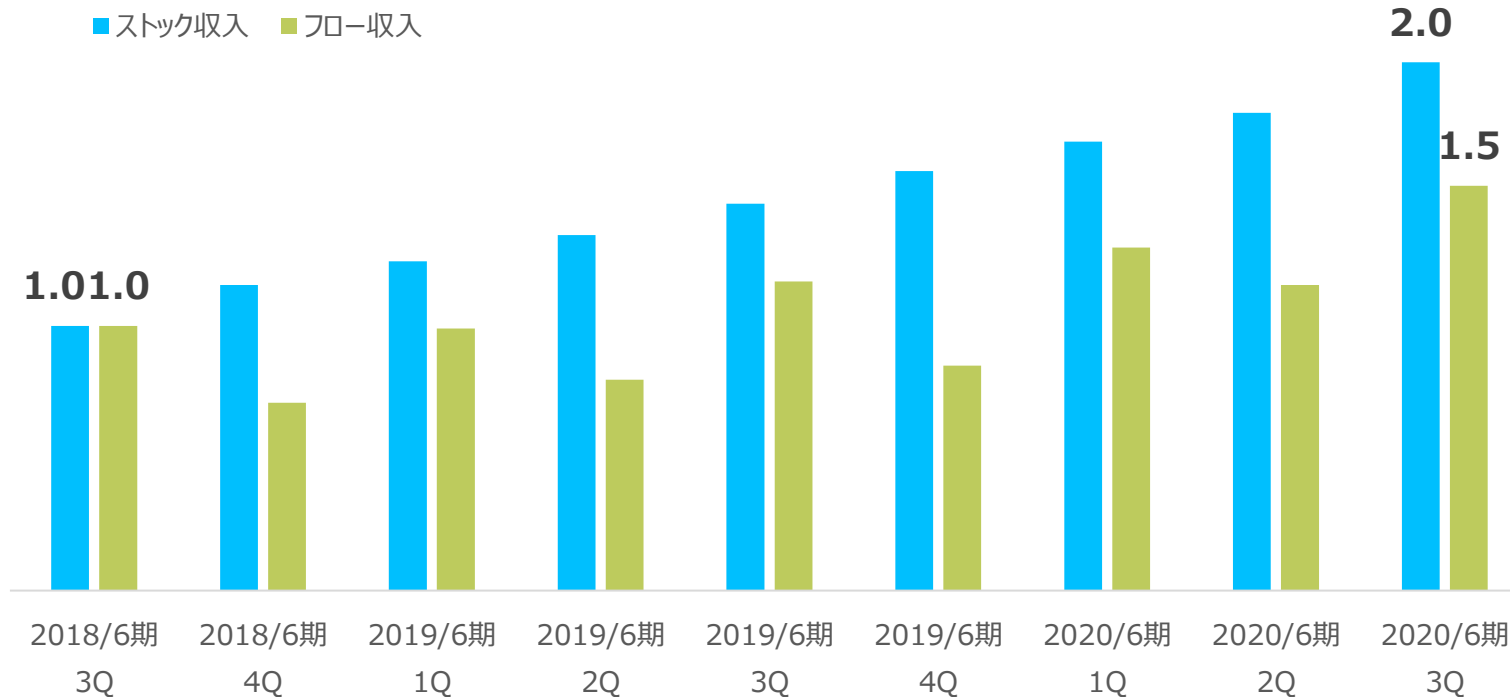
- 3Qのみでも、レジデンスWi-Fiの好調を背景に前年比・前期比ともに増収増益を達成。全社ベースでも各事業ベースでも、売上、利益は四半期ベースで過去最高を更新
- レジデンスWi-Fiでは消費増税の反動も解消。フリーWi-Fiも堅調に推移

(百万円)	2019/6期				2020/6期			前年比較	前期比較
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
売上高	1,293	1,230	1,523	1,398	1,730	1,705	2,039	+516	+334
レジデンスWi-Fi	956	896	1,117	1,103	1,368	1,249	1,578	+461	+328
フリーWi-Fi	337	334	406	295	362	455	461	+54	+5
営業利益	304	192	345	94	389	248	466	+121	+217
レジデンスWi-Fi	336	227	361	271	441	293	481	+119	+187
フリーWi-Fi	104	101	137	28	111	130	151	+14	+20
調整	▲136	▲136	▲153	▲205	▲163	▲175	▲166	▲12	+9
経常利益	298	186	336	65	381	240	463	+127	+222
経常利益率	23.0%	15.1%	22.0%	4.7%	22.0%	14.1%	22.7%	+0.6p	+8.6p
当期純利益	189	118	215	28	245	144	294	+79	+149

*百万円未満、0.1%未満切り捨て

- ストック収入は上場以来8四半期連続で増収。2018/6期3Q基準では2倍に到達
- 安定収益源の成長により、経営基盤の安定性は着実に上昇
- フロー収入も3Qは季節要因もあって過去最高売上を更新。ストック収入への入口は順調

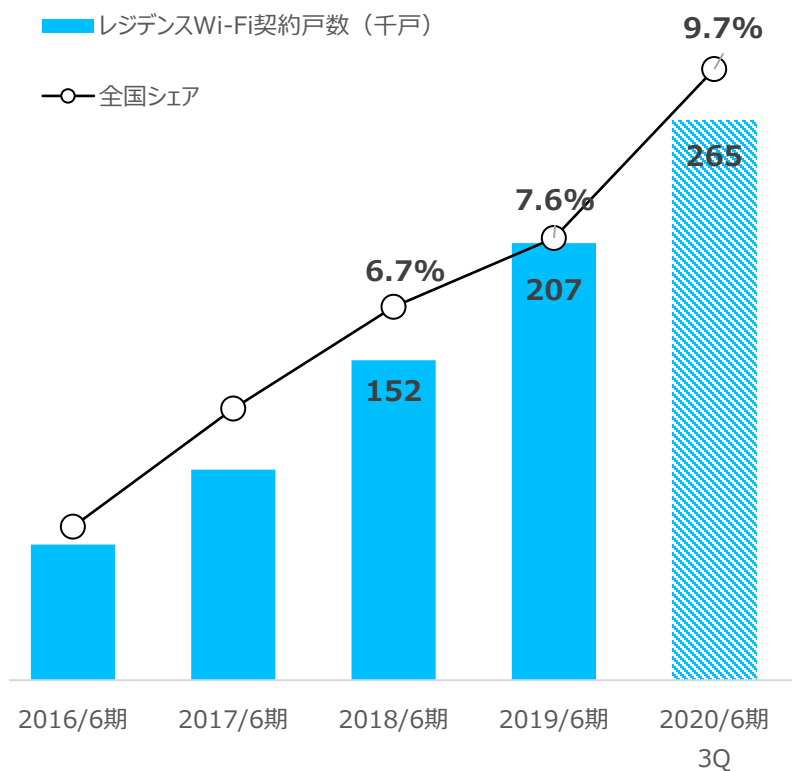
ビジネス別収入の四半期推移



注) 2018/6期3Q=1 として指数化。小数点以下の差により、同じ数値表記にもかかわらず、見かけ上グラフの高さに違いが生じることがある

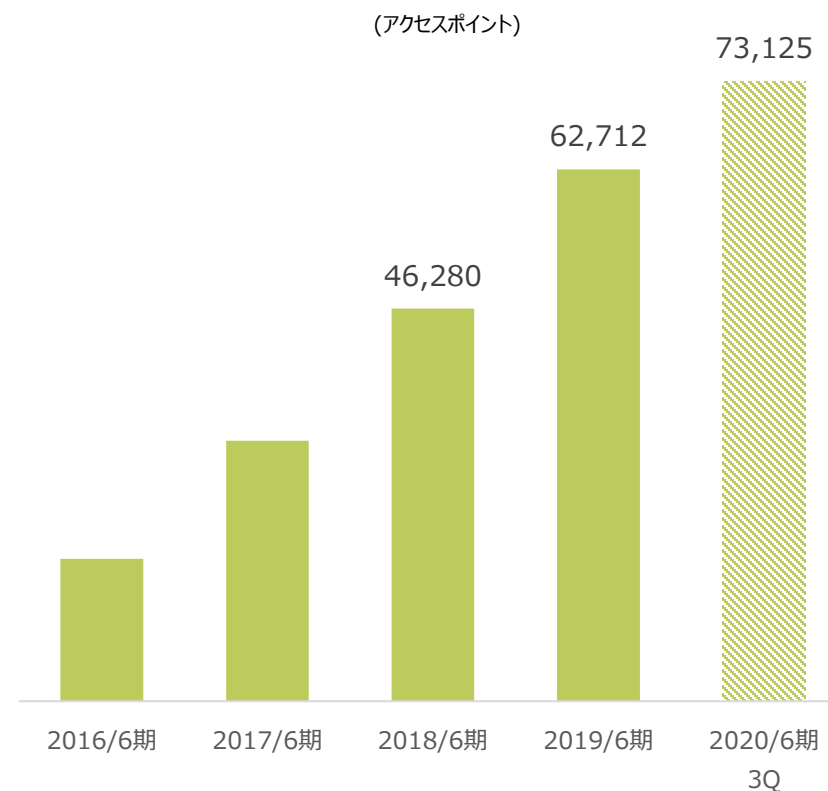
- レジデンスWi-Fi契約戸数は3Q末で26.5万戸。全国シェアも9～10%程度と推定
- フリーWi-Fiのアクセスポイントは7.3万ポイント。ただし、増加ピッチはやや減速気味

レジデンスWi-Fi契約戸数と全国シェアの推移



*全国シェアはMM総研発表による全戸一括型マンションISPの提供戸数総数（各3月末現在）を当社会計年度末（もしくは直近四半期末）の契約戸数実績で除して算出

フリーWi-Fiアクセスポイント数 (注) 推移



(注) 当社の認証システムを利用しているアクセスポイント数

連結決算概要(貸借対照表)

- 自己資本比率は37.8%。純資産の積上げは順調も、顧客増による総資産拡大も進行
- ビジネスモデルの特性上、顧客拡大に伴う資産増は売掛金、有形固定資産に反映
- キャッシュアウト先行構造にあるため、運転資金を潤沢に確保すべく、銀行借入を積増し

(百万円)	2018/6期	2019/6期	2020/6期 3Q	2019/6期 末比増減	
流動資産	2,202	2,351	2,986	+635	キャッシュアウト先行構造にあるため、運転資金を潤沢に確保
現預金	1,118	1,058	1,409	+351	売上増に伴って増加
売掛金	918	993	1,247	+253	
棚卸資産	138	269	296	+27	
固定資産	2,154	2,955	3,975	+1,019	顧客増に伴い設備関連先行投資が拡大
有形固定資産	2,020	2,806	3,816	+1,009	
総資産	4,364	5,311	6,965	+1,653	
負債	2,984	3,330	4,326	+996	顧客増によって先行するキャッシュアウトに対応
有利子負債	2,422	2,378	3,246	+868	
その他	562	951	1,079	+127	
純資産	1,380	1,981	2,639	+657	純資産額は前期末より33%拡大 自己資本比率37.8%
負債純資産合計	4,364	5,311	6,965	+1,653	

*百万円未満、0.1%未満切り捨て



Fibergate Inc.

株式会社ファイバーゲート

2020年6月期決算見通し

通期業績見通しを増額修正

従来見通し

売上高 **69.1**億円
 経常利益 **10.6**億円



修正見通し

売上高 **73.9**億円
 経常利益 **12.1**億円

経常利益想定 + **1.5**億円

売上想定引上げ +2.2億円
 レジデンスWi-Fi前提引き上げ +2.9億円
 フリーWi-Fi前提引き下げ ▲0.7億円
 コロナ禍影響のリスクバッファ ▲0.7億円

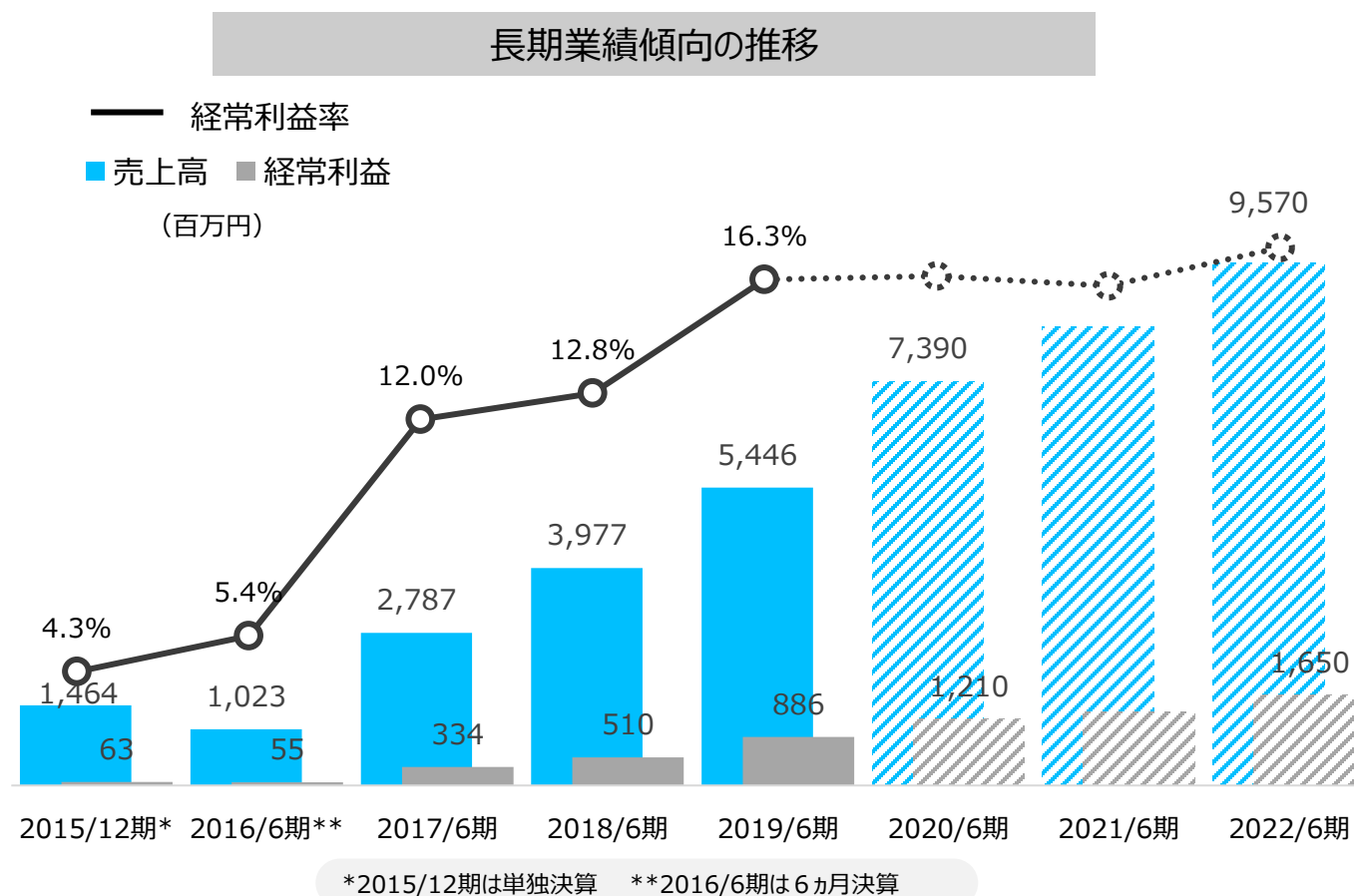
- 修正見通しは前年比36%増収、36%経常増益の見通し。中計における2022/6期の目標経常利益16.5億円の達成に向けて、着実に歩を進める
- レジデンスWi-Fi契約戸数前提の引上げは顧客開拓の好調を反映。一方、フリーWi-Fiアクセスポイント前提は、コロナ禍による商業施設の営業自粛の余波から引き下げ

(百万円。百万円未満切り捨て)	2019/6期	2020/6期		前年同期比	
		従来見通し	修正見通し	増減額	増減率
売上高	5,446	6,910	7,390	+1,943	+35.6%
レジデンスWi-Fi事業	4,073	5,040	5,670	+1,596	+39.2%
フリーWi-Fi事業	1,373	1,870	1,720	+346	+25.2%
営業利益	936	1,070	1,230	+293	+31.3%
レジデンスWi-Fi事業	1,197	1,290	1,520	+322	+26.9%
フリーWi-Fi事業	371	680	520	+148	+39.9%
調整	▲632	▲900	▲810	▲177	▲28.0%
経常利益	886	1,060	1,210	+323	+36.4%
当期純利益	550	670	740	+189	+34.3%
* <前提>					
レジデンスWi-Fi契約戸数 (千戸)	207.0	276.0	280.0	+72.9	+35.2%
フリーWi-Fiアクセスポイント数 (千AP)	62.7	88.0	74.0	+11.2	+18.0%

- 4Qのみでも前年比増収増益を想定。季節要因から対3Q比では大きく調整する見通し
- セグメント別にはレジデンスWi-Fiが33%の増収見通し。本来4Qは不需要期ながら、契約戸数増から高成長を持続。一方、フリーWi-Fiではコロナ禍の影響波及を織り込み

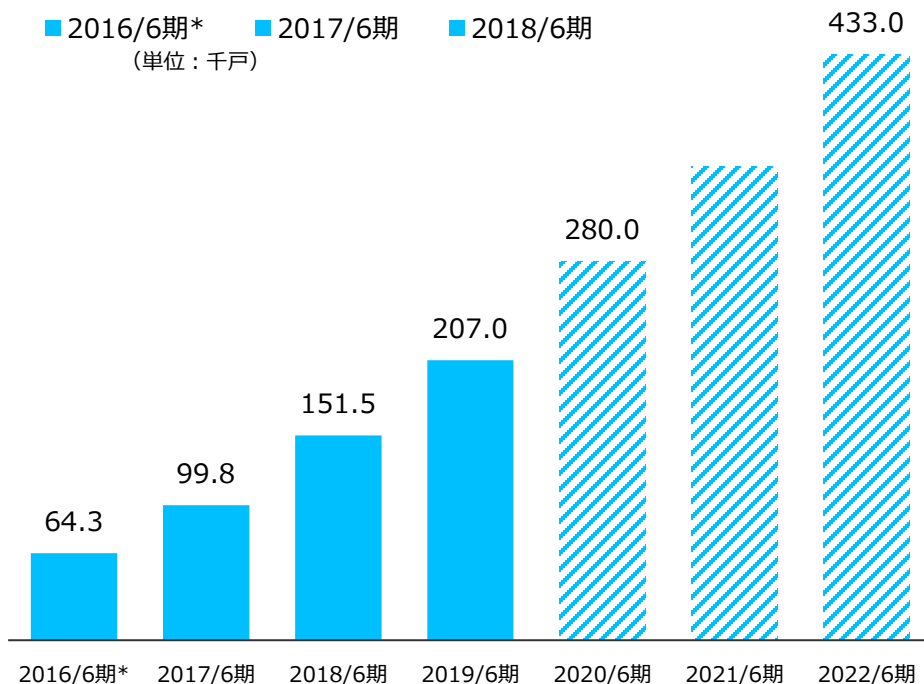
(百万円)	2019/6期				2020/6期				前年比較
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q想定	
売上高	1,293	1,230	1,523	1,398	1,730	1,705	2,039	1,914	+515
レジデンスWi-Fi	956	896	1,117	1,103	1,368	1,249	1,578	1,473	+370
フリーWi-Fi	337	334	406	295	362	455	461	440	+145
営業利益	304	192	345	94	389	248	466	126	+32
レジデンスWi-Fi	336	227	361	271	441	293	481	303	+31
フリーWi-Fi	104	101	137	28	111	130	151	126	+97
調整	▲136	▲136	▲153	▲205	▲163	▲175	▲166	▲303	▲97
経常利益	298	186	336	65	381	240	463	123	+57
経常利益率	23.0%	15.1%	22.0%	4.7%	22.0%	14.1%	22.7%	6.4%	+1.7p
当期純利益	189	118	215	28	245	144	294	54	+26

- 社会変化はあるものの、中期経営計画において示した業績拡大シナリオは継続。2022/6期の経常利益目標16.5億円に変更なし
- 時代の流れを見極め、新社会情勢にマッチした新サービスの可及的速やかな提供に注力



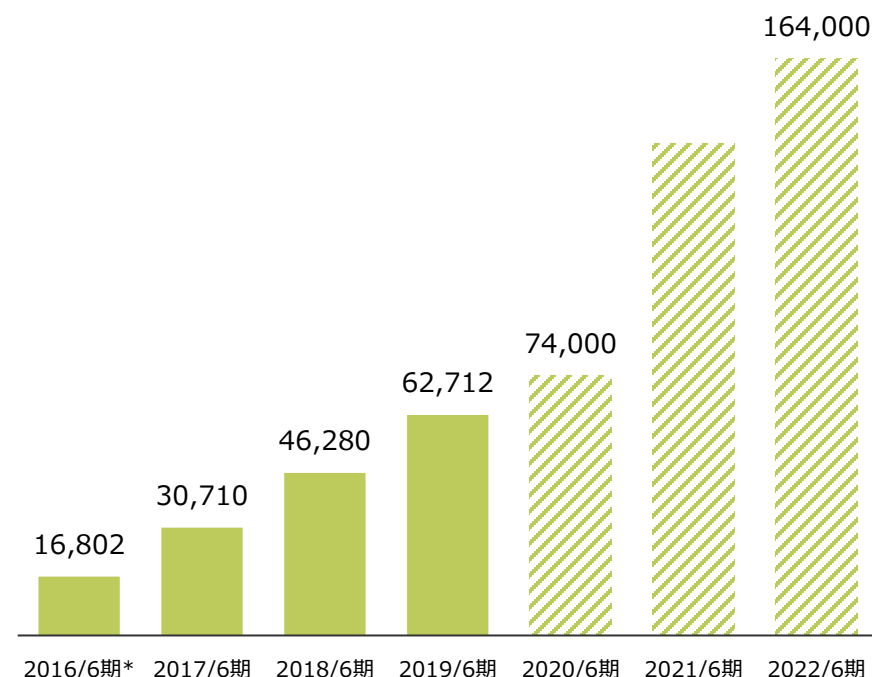
- レジデンスWi-Fiの累積契約戸数はやや想定を上回るペースで順調に拡大
- 一方、フリーWi-Fiのアクセスポイントはコロナ禍の逆風受け、目標到達には厳しき増す

レジデンスWi-Fi契約戸数



フリーWi-Fiアクセスポイント数 (注) の推移

(単位：アクセスポイント)



*2016/6期は6ヵ月決算

注：当社の認証システムを利用しているアクセスポイント数



Fibergate Inc.

株式会社ファイバーゲート

アフターコロナに向けて

- コロナ禍で生活スタイルなどの社会変化は必然と想定。3密環境への回避姿勢継続やテレワークの浸透などは、Wi-Fi通信を生活必需のインフラへと昇華させる可能性大

ビフォーコロナの世界

Wi-Fiは“集客ツール”

- ✓ 空き室対策としてのWi-Fi環境整備
 “スマホ利用台頭”
 “PC需要の伸び悩み”
 “TV/固定電話の地位低下”
- ✓ 店舗等商業施設、交通機関内における利用者向け通信環境整備
 “コト消費の拡大”
 “移動時間の有効活用”
 “SNSの発信”



アフターコロナの世界見通し

Wi-Fiは生活必需の“インフラ”へ

テレワークの浸透
 3密環境への回避姿勢
 移動時間の減少
 WEB下でのコト消費拡大



快適・安全な通信環境
大容量通信
安価・利便性高いソリューション

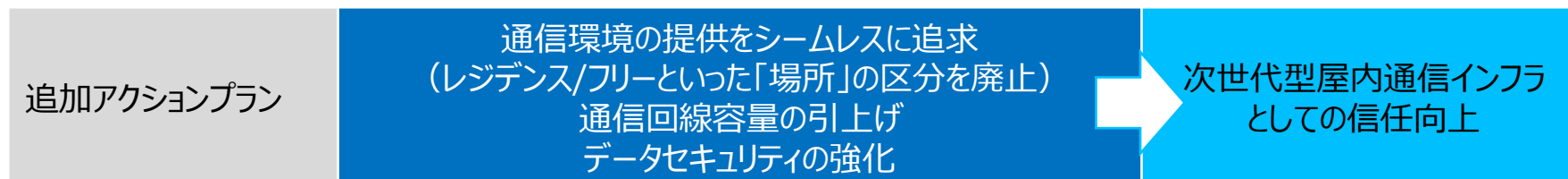
を実現するWi-Fiニーズはさらに拡大

- 社会変化への対応で場所を問わないサービス提供体制へシフト。基盤整備の充実に経営資源を集約し、快適・安全・安価な生活インフラとしての信任向上に注力
- インフラとしての地位獲得は、オルタナティブキャリアの実現を明らかに加速させる追い風に

これまで掲げてきた当面の経営課題

経営課題	①レジデンスにおける 基盤整備の充実	②フリーWi-Fiの成長加速	③オルタナティブキャリア構想 実現に向けた対応
対応領域	通信技術関連投資 ガバナンス強化	販路開拓の強化 営業効率の改善	ローカル5Gへの対応 Wi-Fi6への対応 Home IoTへの対応
対策方針	IPv4 over IPv6強化 管理基幹システムの刷新	顧客訴求力引上げ 成功パターンの共有	各種通信方式の研究 Home IoTモデルの上市
アクションプラン	エンジニアの積極採用 非常勤役員の常勤化 による管理部門強化	ワンタッチWi-Fiの レンタルモデルの開発 営業体制テコ入れ	スマートロックなど ワンストップソリューション提供

コロナ禍の発生による社会変化



対象範囲のシームレス化

内-外といった概念を撤廃し、レジデンス/フリーといった「場所」の区分を廃止
「場所に関わらず」通信接続できる環境提供に注力

通信回線の大容量化

テレワーク化により、送受信データ量は加速度的に急拡大する公算大
主要な原価科目である光回線の利用率増加などへの対応は喫緊の課題

データセキュリティの強化

テレワーク化により、送受信データの安全管理は不可欠。提供済のVPNサービスに加え、中小企業向けにサービスも4月より提供開始。セキュリティ対策で定評あるデジタルデータソリューション社と提携し、新セキュリティサービスの共同開発推進

一気通貫体制の継続強化

機器、認証、電気通信サービス、サイバーセキュリティまで、一気通貫サービスを推進
これらのPB化サービス展開により、顧客利便性の向上、顧客層の拡大に注力

従来の配当方針

- ① 成長投資への充当を優先
- ② FCF赤字下での高い資金需要

配当よりも業績拡大による株主還元注力

修正配当方針

- ① 期初想定当期純利益に対し、超過達成分を配当原資と設定
- ② 期初想定当期純利益に対し、想定未達時は配当はなし
- ③ 引き続き、成長による業績拡大を指向する姿勢に変化はなし

背景

成長のための資金需要は依然として高いものの、東証1部上場企業としての社会的責任も大きいと判断

効果

想定利益の超過達成に向けて、株主からの監視効果の向上
成長と株主還元の同時実現



Fibergate Inc.

株式会社ファイバーゲート

トピックス

① BizGenesis

出資比率： **Fibergate Inc.** 100%（現在）

 **Fibergate Inc.** 82%、 つなぐをつくる、つなぐをささえる。 **AsahiNet** 18%（2020年7月以降）

主な事業：法人向け通信サービス事業、FGNプラットフォーム販売事業、
法人向けデータセキュリティサービスの開発・販売

設立日：2020年4月

営業開始日：2020年7月予定

経緯：ネイティブ方式のIPv6接続サービス、オペレーション支援サービスで提携する
朝日ネットとの協業深化

② FG-Lab

出資比率： **Fibergate Inc.** 100%

主な事業：独自の通信サービス構築への商品開発拠点

設立日：2020年1月

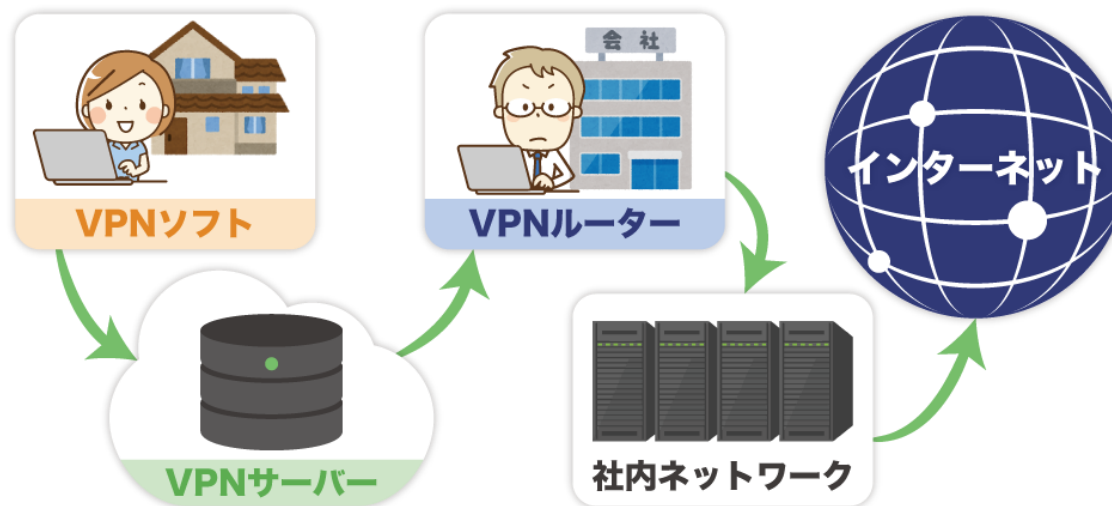
営業開始日：2020年3月

経緯：Alternative Carrier 構想実現に向けての研究開発力強化

2020年4月～

「かんたんVPN」サービス開始

在宅勤務等テレワークのサポートに向けて、当社が短期間で簡単にVPN環境を構築



当社のVPN構築のノウハウと豊富な実績を活かし、既存のネットワーク構成を変更することなく、IPアドレス設定のヒアリングのみで手軽にVPN化を実現

➡ VPN化の遅れがテレワーク導入の障害となっていた中小企業向けに訴求



狙い

法人・個人を問わず多発が予測されるサイバーインシデントの早期発見、対応の迅速化により、より安心安全快適な通信サービスの実現推進
情報漏洩対策やサイバーセキュリティ対策の安価導入の実現

背景

通信サービスの社会インフラ化、IoT製品の増加、テレワーク時における情報漏洩リスクの拡大などに伴うサイバーセキュリティ対策の重要性増大

展開

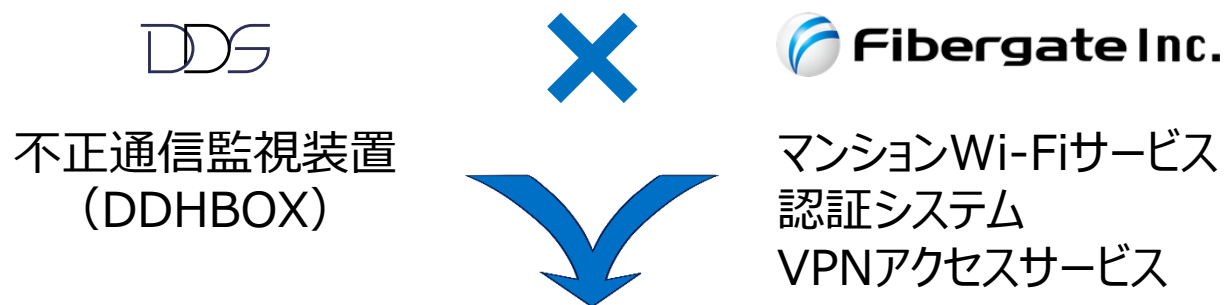
- ① テレワーク対応のマンションWi-Fi入居者無料サービスのサイバーセキュリティ対策を実現（DDS製出口対策セキュリティ製品「DDHBOX」を活用）
- ② DDHBOXと、ファイバゲート提供のVPNサービスを組み合わせ、企業向けのサイバーセキュリティ対策製品・サービスとして販売を推進
- ③ DDHBOXの小型化及び機能向上のための開発を両社共同で推進

デジタルデータソリューション株式会社：
サイバー空間でのセキュリティソリューション提供企業。ファームウェアの解析・修正技術を核に、データ復旧サービスは11年連続国内売上トップ

テレワーク対応マンションWi-Fiサービスの提供開始

2020年6月～

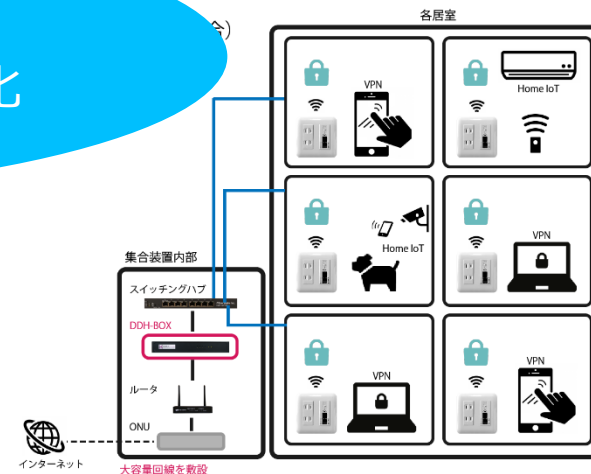
デジタルデータソリューション社(DDS)と共同で、データ大容量回線とセキュリティ対策
 完備のテレワーク対応マンション向け通信サービスの提供開始予定



ワンストップで提供

大容量回線による通信の安定化
 不正通信監視装置によるセキュリティ強化

「DDSの不正通信監視製品（DDHBOX）：
 IoTデバイスそのものに加え、ネットワークを守る製品。サーバへの不正
 通信を自動で検知・遮断する出口対策を担い、これまで無人では不
 可能とされていたで“官公庁レベル”の通信監視の自動化に対応。





Fibergate Inc.

株式会社ファイバーゲート

Appendix



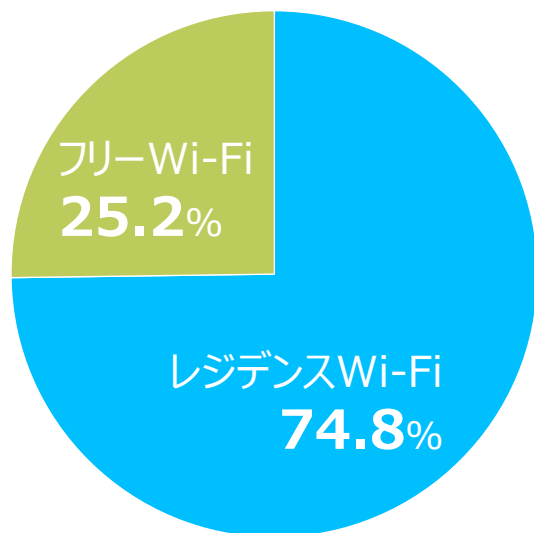
**通信機器の開発・製造から電気通信サービスまで、
一貫して手がける（通信系キャリア以外の）
独立系Wi-Fiソリューション企業***

***独立系公衆無線LAN 事業者**

公衆無線LAN(Wi-Fi)アクセスサービス分野で、総務省（総合通信基盤局事業政策課）
管轄業者かつ提供区域が全国の業者は、現在15社で、当社は大手キャリアと肩を並べる存在

- 2つの主要事業を展開。主力はレジデンスWi-Fiで、売上構成は74.8%（2019/6期）
- 高採算の「顧客PB化支援」（当社は黒子として貢献）に注力

売上構成内訳



2019/6期実績

レジデンスWi-Fi事業



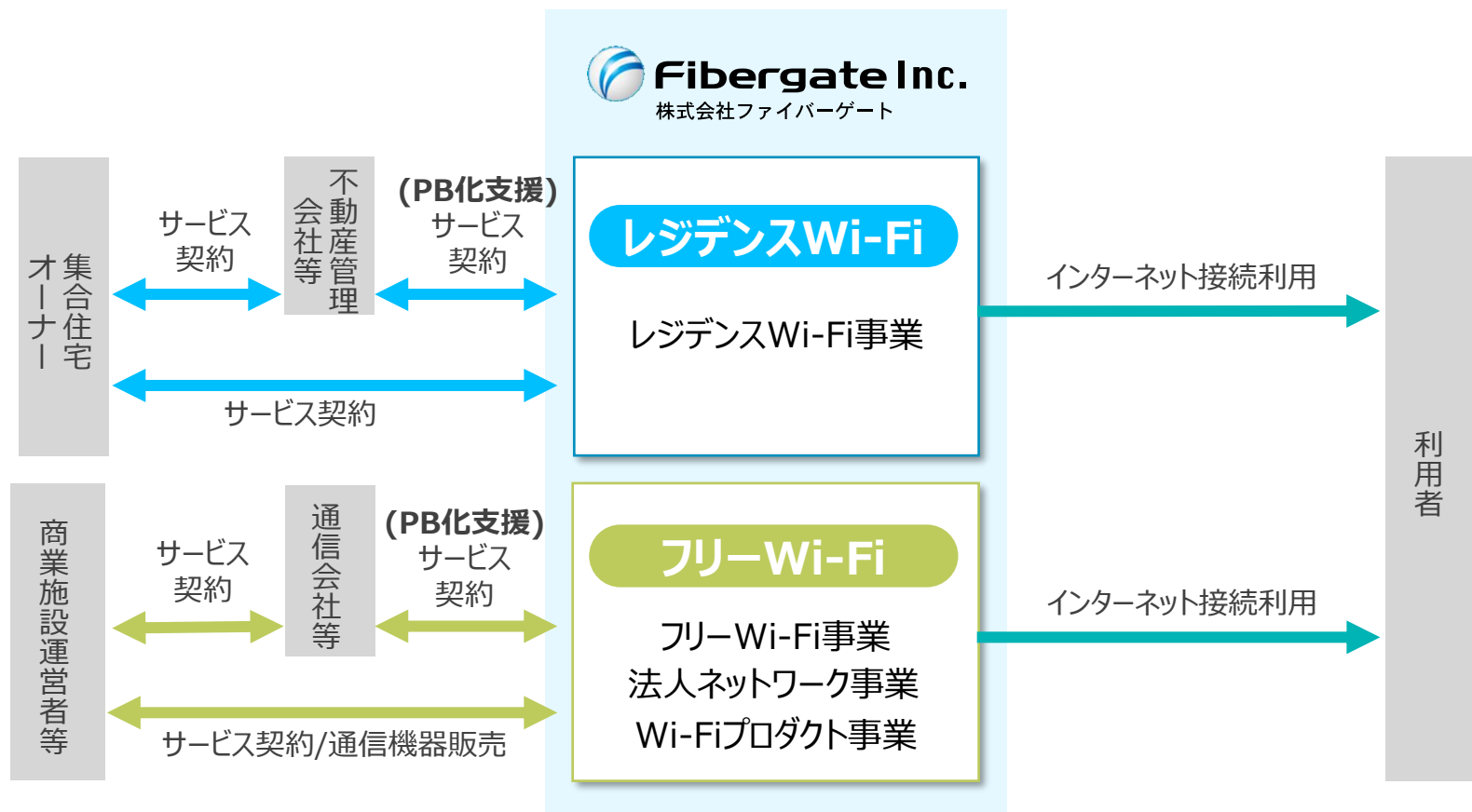
- ・マンション・アパート向け全戸一括インターネット接続サービスの提供
- ・顧客は集合住宅オーナー

フリーWi-Fi事業

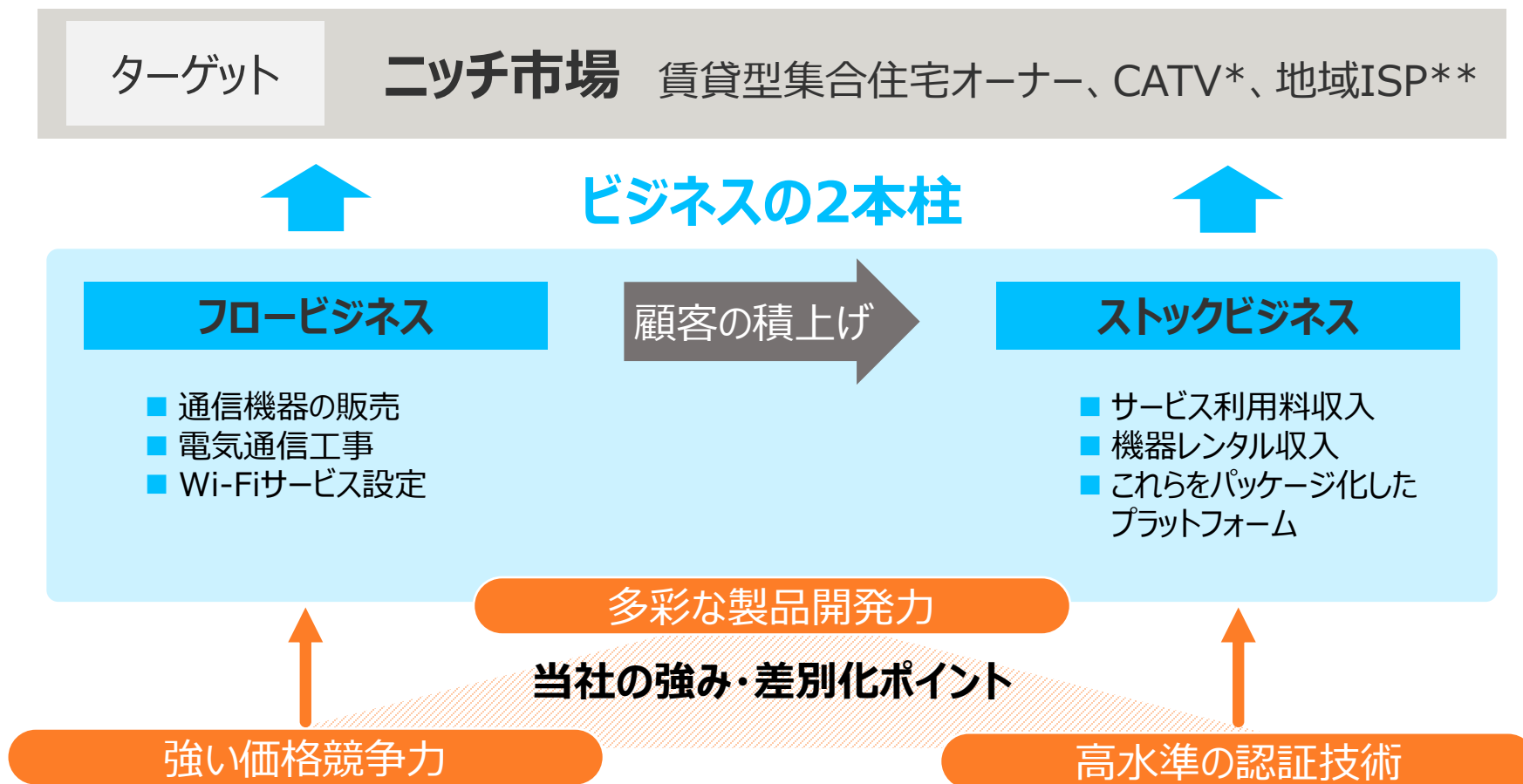


- ・フリーWi-Fi事業(観光地、商業施設向け)
- ・法人ネットワーク事業
(インターネットプロバイダサービスなど)
- ・Wi-Fiプロダクト事業
(通信機器の製造販売)
- ・顧客は観光自治体、商業施設などのロケーションオーナー

- 金銭報酬はサービス契約先より受領。インターネット接続利用者の金銭負担はなし
- 「顧客のPB化支援」が主力



- ニッチ市場に向けて、フローとストックの2本柱を用意
- 当社の差別化ポイントは、「製品開発力」、「価格競争力」、「認証技術」の3点



*CATV : Cable Television。光ケーブルなどを用いてテレビ放送やインターネット接続、電話などのサービスを提供する企業

**ISP : Internet Service Provider。インターネット接続の電気通信役務を提供する電気通信事業者

年	内容
2000	➤ 国内、国際電話サービスの加入取次を目的に仙台市若林区に会社設立
2003	➤ 札幌市中央区に本社移転 ➤ 複数拠点企業のネットワーク構築、Webでのブロードバンド回線販売を主業とする
2004	➤ レジデンスWi-Fi事業を開始
2005	➤ Wi-Fiによるブロードバンド化サービスを開始
2006	➤ PB化支援による集合住宅向けインターネット無料サービスを開始
2008	➤ マンスリーマンション向けインターネット接続事業を開始
2009	➤ フリーWi-Fiサービス事業を開始
2013	➤ コンピュータウェアの企画開発及びインターネット回線取次を担当する子会社NOISを設立
2014	➤ 当社開発通信機器の販売事業（Wi-Fiプロダクト事業）を開始 ➤ PB化支援による店舗・商業施設向けWi-Fiサービスを開始
2015	➤ 電気通信工事業認可（北海道知事許可）を取得 ➤ 台湾に100%子会社・飛博網通技股份有限公司を設立 ➤ 電気通信事業法に基づく電気通信事業の登録免許を取得
2016	➤ 経営革新計画企業に認定
2018	➤ 東京証券取引所マザーズ市場に上場 ➤ 株式分割（1株→2株）実施
2019	➤ 東京証券取引所第一部に上場市場変更 ➤ 札幌証券取引所に上場 ➤ 株式分割（1株→2株）実施
2020	➤ プロダクト開発子会社FG-Lab設立 ➤ 法人向け通信サービス事業等を行う子会社BizGenesisを設立

決算年月 (*単独決算、** 6ヵ月決算)		2015/12期*	2016/6期**	2017/6期	2018/6期	2019/6期
売上高	(千円)	1,464,802	1,023,483	2,787,387	3,977,485	5,446,396
経常利益	(千円)	63,061	55,270	334,836	510,171	886,999
当期純利益	(千円)	16,391	27,012	209,331	312,312	550,888
資本金	(千円)	48,750	51,300	54,300	401,372	426,896
発行済株式総数	(株)	525	54,200	56,200	4,761,900	9,807,400
純資産額	(千円)	168,324	200,854	413,480	1,380,144	1,981,638
総資産額	(千円)	2,129,263	2,255,326	3,054,242	4,364,688	5,311,858
1株当たり純資産額	(円)	320,617.90	74.12	147.15	144.92	202.06
1株当たり当期純利益金額	(円)	31,221.38	10.08	75.92	81.62	57.60
自己資本比率	(%)	7.91	8.91	13.54	31.62	37.30
自己資本利益率	(%)	10.24	14.50	68.15	34.82	32.78
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	–	106,606	544,165	808,563	1,345,616
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	–	▲179,893	▲836,777	▲1,328,849	▲1,389,763
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	–	147,142	313,955	868,783	▲15,102
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	–	748,311	773,093	1,118,034	1,058,574
従業員数	(人)	78	92	115	141	159

ご清聴ありがとうございました。

＜ 見通しに関する注意事項 ＞

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

問い合わせ先
経営管理本部 IR担当
0120-772-322
fgir@fibergate.co.jp